HCC366

302155

□要

□明

HCC366□、テキサス大学サウスウェスタン・メディカルセンターのハモンがんセンターにおいて、80歳のヨーロッパ人女性患者の悪性胸水から樹立されたヒト肺腺扁平上皮癌細胞株である。 腺扁平上皮癌□、非小細胞肺がん（NSCLC）の希少な混合組織学的亜型であり、腺癌と扁平上皮癌の両方の特徴を併せ持っています。 HCC366□ ′ Cancer Dependency Map (DepMap) ′ CCLE ′ COSMIC細胞株、およびMDアンダーソン細胞株プロジェクトのパネルに含まれています。 この細胞株□、ホモ接合型の TP53 p.Tyr220Cys 変異（DNA 結合ドメインの構造変異）およびヘテロ接合型の ATM p.Pro534Ala 変異を有しています。 KRAS ′ EGFR ′ STK11のドライバー変異□認められず、マイクロサテライト安定性（ MSS）を示します。倍加時間 □約60～70時間です。
HCC366□ ′ NSCLCの研究、特に純粋な腺癌や扁平上皮癌の亜型に比べて研究が十分に進んでいない肺腺扁平上皮癌の生物学に関する研究に適用可能です。主な用途に□ ′ TP53の機能獲得変異の研究、 ATMを介したDNA損傷応答；化学療法の感受性および耐性試験（シスプラチン、パクリタキセル、ゲムシタビン）；標的治療薬の評価；DepMapおよびCCLEフレームワーク内での薬剤感受性プロファイリング；混合組織型 NSCLCのバイオマーカー発見；比較ゲノミクス；ならびにプロテオミクス／トランスクリプトミクスプロファイリング。 HCC366□また、悪性胸膜疾患に関連する増殖、遊走、浸潤メカニズムなど、肺がんの細胞生物学に関する研究にも貢献している。

ティッシュ	肺
病気	非小細胞肺がん
転移部位	悪性胸水（検体採取部位）

用途

非小細胞肺がん（NSCLC）の研究；肺腺扁平上皮がんの生物学的特性； TP53 p.Tyr220Cysの機能獲得に関する研究； ATMによるDNA損傷応答；化学療法感受性（シスプラチン、パクリタキセル、ゲムシタビン）； DepMap/CCLEによる薬剤感受性プロファイリング；バイオマーカーの発見；非小細胞肺がん（ NSCLC）の比較ゲノミクス；悪性胸膜疾患の生物学的特性

同義語

- HCC-366
- HCC0366
- Hamon Cancer Center 366

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
GMOの有無	非遺伝子組み換え

GMOのステータスに関する詳細

No genetic modification; wildtype NSCLC cell line with endogenous somatic mutations (TP53 p.Tyr220Cys homozygous; ATM p.Pro534Ala heterozygous)

バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
細胞の種類	上皮細胞
MSIの状態	MSS

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

倍増時間	約60～70時間

識別子

引用

HCC366（Cytion カタログ番号 302155）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_2059

発現と感受性

変異プロファイル

TP53 p.Tyr220Cys (c.659A>G) ホモ接合体; ATM p.Pro534Ala (c.1600C>G) ヘテロ接合体

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w: 2.0mM安定グルタミン、w: 2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10%熱不活性化FBSを添加する。

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した細胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコで□3-5ml、T75フラスコで□5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコで□1-2ml、T75フラスコで□2.5mlのアキュターゼで細胞を完全に覆う。室温で 8-10分間インキュベートし、細胞を剥離させる。インキュベーション後、細胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、細胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

分割比率	1～5
播種密度	1～3 × 10^4 細胞/cm^2
流体の更新	週2～3回
解凍後の回復	解凍後、細胞を5 × 10^4 細胞/cm^2の密度で播種し、最初の培地交換を行う前に、少なくとも 24時間かけて細胞の付着を待つ。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染□′PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物 □毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地として□、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、また□回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存□、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株□、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	80年
民族	ヨーロピアン

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣 □不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた□安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□′<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB